

学校評価アンケートについて

7月にGoogleフォームにより実施した「学校評価アンケート」の結果について報告します。今年度の大楽毛小学校の目指す姿を保護者・地域の皆様と共有し、どんな取組を進めて行くべきなのかを一緒に協議していけたらと考えております。お忙しい中ご協力ありがとうございました。

児童アンケート 上段：1～3年生 下段：4～6年生

(4：している 3：どちらかといえばしている 2：あまりしていない 1：していない)

肯定的な回答(4・3)が90%以上の項目 80%未満の項目

No.	質問項目	4	3	2	1
1	私は、自分からすすんであいさつをしている。	39.3%	42.8%	14.3%	3.6%
		51.4%	33.3%	12.5%	2.8%
2	私は、自分の良さ(自分には良いところがあること)に気付いている。	39.3%	28.5%	14.3%	17.9%
		13.9%	50.0%	22.2%	13.9%
3	私は、友達や家族など周りの人に、やさしい気持ちで接している。	42.9%	41.0%	12.5%	3.6%
		55.6%	34.6%	5.6%	4.2%
4	私は、友達や家族などまわりの人に、自分の気持ちや考えを進んで伝えようとしている。	35.7%	39.3%	21.4%	3.6%
		40.3%	36.1%	19.4%	4.2%
5	私は、当番活動や係活動など、学級で役に立てよう進んで努力している。	60.7%	32.2%	7.1%	0.0%
		51.4%	43.0%	2.8%	2.8%
6	私は、「たてわり班活動」などを通じて、学校内の多くの人と関わろうとしている。	62.5%	28.6%	7.1%	1.8%
		55.6%	23.6%	12.5%	8.3%
7	私は、「生活科」や「おたうポ」などを通じて、自分が知りたいこと(疑問)を探究する(調べる)ことを楽しんでいる。	67.9%	23.2%	7.1%	1.8%
		63.9%	25.0%	9.7%	1.4%
8	私は、自分のために、学び方を学びながら楽しく授業にのそんでいる。	60.7%	25.0%	12.5%	1.8%
		48.6%	38.9%	8.3%	4.2%
9	私は、日常の授業や学校行事など、いろいろなことに意欲的に取り組んでいる。	51.8%	35.7%	10.7%	1.8%
		48.6%	34.7%	13.9%	2.8%
10	私は、難しい問題や課題にも、最後まであきらめずに取り組んでいる。	66.1%	17.8%	12.5%	3.6%
		47.2%	34.7%	12.5%	5.6%
11	私は、学校や家庭において、必要に応じて、学校のタブレット端末を使うことができる。	58.9%	33.9%	3.6%	3.6%
		58.3%	38.9%	1.4%	1.4%
12	私は、学校でのきまりや約束、家庭での約束を守っている。	44.7%	33.9%	21.4%	0.0%
		54.2%	36.1%	8.3%	1.4%
13	私は、常に友達や家族などの周りの人のことを考えて行動している。	46.4%	39.3%	12.5%	1.8%
		44.4%	44.4%	7.0%	4.2%
14	私は、宿題や家庭学習に計画的に進んで取り組んでいる。	51.8%	33.9%	10.7%	3.6%
		51.4%	34.7%	9.7%	4.2%
15	私は、自分の健康に関心を持ち、運動や体力づくりに進んで取り組んでいる。	64.3%	23.2%	12.5%	0.0%
		52.8%	27.8%	13.8%	5.6%
16	私は、本や新聞を読むことは大切だと思う。	66.1%	25.0%	8.9%	0.0%
		58.3%	23.6%	13.9%	4.2%
17	私は、自分から進んで家庭でお手伝いをしている。	41.1%	21.4%	25.0%	12.5%
		38.9%	36.1%	22.2%	2.8%
18	私は、自分から進んで家族と話をしている。	57.1%	25.0%	12.5%	5.4%
		75.0%	15.3%	9.7%	0.0%
19	私は、自分の命を大切にしている。	85.7%	8.9%	5.4%	0.0%
		77.8%	15.2%	2.8%	4.2%
20	私は、将来の夢や目標を持っている。	76.8%	14.3%	7.1%	1.8%
		75.0%	13.9%	4.2%	6.9%

目指す姿に向けて頑張れた(努力した)項目

【低学年】



【高学年】



肯定的な回答が低学年、高学年ともに9割以上の項目は次の3項目でした。
 ■当番活動や係活動など、学級で役に立てよう進んで努力している。【5】
 ■学校や家庭において、必要に応じて、学校のタブレット端末を使うことができる。【11】

■自分の命を大切にしている。【19】
 子どもたちが学級の中で、仲間と協力し、学級等において「役に立とう」と努力していることがわかります。これは昨年度目指してきた子どもたちの姿「役に立つ喜び」という部分が子どもたちに培われてきていると考えます。また、タブレット端末を必要に応じて使える技術が伴ってきており、楽しんでタブレット端末を使って学習を進めている様子がわかります。加えて「命を大切にしている」ということは「自分を大切にしている」子どもたちが増えているということ。今後も、学校や家庭、地域が、子どもたちにとって、心理的安全性の担保された場所となるようより一層努めていく必要があります。

また、肯定的な回答が9割以上の項目として、低学年のみの項目が4項目、高学年のみの項目が3項目ありました。

低学年の子どもたちは、「人との関わり」や「学ぶこと」について前向きな様子が伝わってきますし、高学年の子どもたちについては、周りの人たちにやさしさを持って接し、学級や学校の活動において「しっかり頑張ろう」と努力し、先生方や家族、地域の方々に認めてもらいたいという気持ちの表れを感じました。

また一方で、低学年、高学年ともに肯定的な回答が8割に満たない項目は、3項目でした。なかでも「自分によいところがあると気づいている」【2】の項目は、毎年度、他よりも低い自己評価となっています。子どもたち一人一人が「自分で考えて判断し、行動(発信)できる」よう、学校内においては、個々の子どもたちに役割を与え、その役割を十分に果たせた時にしっかりと賞賛するなどして、自分のよさを実感できるようにしていくことが重要です。また、授業も含めた学校生活全般において、自分の考えを伝えたり、互いの考えを伝え合ったりする場を意図的に設定していく必要があります。学校は基本的に「授業で勝負」、授業改善を今後とも進めていく必要があります。

今年度の頑張りポイントである「すすんで・あいさつ/チャレンジ/思いやり・やさしさ/考えよう」については、今回、大変高い自己評価となっていますが、今後も子どもたちと教職員、保護者等の共通の「めざす姿(ゴール)」として意識しながら、子どもたち一人一人が「自分の頑張り」や「自分のよさ」を自覚できるよう、各種取組を進めていくことが重要と考えます。

しっかりと学級の一人一人の状況を見極めながら、基礎的基本的事項を定着させつつ、子どもたちには少し負荷のある課題を設定し(チャレンジ)取り組ませるなど、授業や活動を工夫していく必要があるように感じます。「そのために努力する」ような子どもたちを目指したいと考えます。

保護者アンケート

(4：している 3：どちらかといえばしている 2：あまりしていない 1：していない)

肯定的な回答(4・3)が90%以上の項目 80%未満の項目

No.	質問項目	4	3	2	1
1	お父さんは、周りの人にすすんであいさつをしている。	27.1%	61.5%	11.4%	0.0%
2	お父さんは、相手のことを思いやり、やさしい気持ちで接している。	45.7%	50.0%	4.3%	0.0%
3	お父さんは、授業や学校行事など、いろいろなことに意欲的に取り組んでいる。	48.6%	47.1%	2.9%	1.4%
4	お父さんは、学習した内容が身に付いている。	35.8%	47.1%	15.7%	1.4%
5	お父さんは、自分でやろうと決めだことは最後まで粘り強く取り組んでいる。	34.3%	38.5%	24.3%	2.9%
6	お父さんは、学習の仕方を理解し、家で学習する習慣が付いている。	30.0%	42.8%	24.3%	2.9%
7	お父さんは、家庭において、学校のタブレット端末の操作を理解し、使うことができています。	62.8%	32.9%	2.9%	1.4%
8	お父さんは、家族や友達など周りの人に、自分の気持ちや考えをすすんで伝えようとしている。	28.6%	47.1%	24.3%	0.0%
9	私(保護者)は、子どもの話を毎日聞いている。	52.9%	41.4%	5.7%	0.0%
10	私(保護者)は、子どもがよいことをしたり、家庭での役割を果たしたりしたときには、賞賛や励ましの言葉をかけている。	68.8%	31.4%	0.0%	0.0%
11	私(保護者)は、子どもが学習に興味・関心を持つよう働きかけている。	22.9%	51.4%	25.7%	0.0%
12	私(保護者)は、家庭での学習時間やゲーム、インターネットの使用時間などについて、子どもと確認し、ルールを決めている。	42.9%	35.7%	20.0%	1.4%
13	私(保護者)は、子どもの将来の夢の実現に向け、応援している。	50.0%	41.4%	4.3%	4.3%
14	学校は、子どもの意欲を高め、一人一人の状況に寄り添った授業を行っている。	51.4%	40.0%	8.6%	0.0%
15	学校は、思いやりを大切にし、いじめなどの問題行動に毅然として対応している。	50.0%	40.0%	8.6%	1.4%
16	学校は、教室環境も含め、子どもたちにとって安心・安全な場所になっている。	48.5%	38.6%	12.9%	0.0%
17	学校は、ICT機器を積極的に活用して学校改善に取り組んでいる。	34.3%	57.1%	5.7%	2.9%
18	学校は、地震や津波、交通指導などの安全対策を万全に行っている。	47.1%	48.6%	4.3%	0.0%
19	学校は、地域の人材や施設の活用等、地域と連携した活動を積極的におこなっている。	52.9%	40.0%	5.7%	1.4%
20	学校は、保護者に対して各種情報を積極的に発信している。	47.1%	42.9%	4.3%	5.7%

◆学校改善に向けてのアイデア～保護者の方からの記述より

【学力向上に関わって】
 ○今年も、漢字検定と算数検定を小学校で実施していただきたい。
 ○一人一人今の算数の苦手な箇所を理解できるように、もう少し取り組んで頂けたら幸いです。
 ○家庭学習のやり方がわからないのか、悩み中です。今までの過去の人の勉強法を例題でもいいので、毎日課題にして頂けたら嬉しいです。親としては、怒ってばかりでもいいのか。自らやる性格に変わればいいと思います。置き勉OKなら荷物も軽いので、タブレットでできる家庭学習を増やしてほしい。
 ○子どもたちが、興味関心を持てるような活動を、今後も行なっていただけると嬉しいです。
 【学校行事、学校生活全般に関わって】
 ○運動会での6年生の親子競技や綱引きなど、子どもと大人と一緒に楽しめてとても良かったと思いました。

○運動会の表彰状作成ありがとうございます！！大切に保管します
 ○晴れている日にまた遠足を。春は雨や寒かったみたいです。
 ○アイディアは特にありません。今の環境でまず子どもが慣れていき、改善や進めていくことなどこれから考えていけたらと思っています。家庭でも学習など取り組めるよう努力していきます。
 ○子どもたちが楽しく過ごせるように、どうぞ宜しくお願い致します🌟
 ○4年生の学習発表会についてです。出来れば、下の学年より下回らない内容のものにして欲しいです。今年の流行りなど一切関係なく、その学年に相応しい内容の濃いものを期待します。
 ○迎えや参観などで学校に行った際に大人も子どもも挨拶がほとんどないのが気になります。まずは大人がお手本として挨拶をしっかりしていける雰囲気になりたいなあと思います。
 ○学校での夏対策としてクールリングを持たせていますが、子どもに聞くと冷えてない状態を付けていると聞きました。来年から学園ですがまだまだ暑い日は続くと思うのでクールリングの使い方を検討してほしいです。それによってこちらも夏対策の物を考えなきゃいけないと思っています。よろしくお願ひします。
【危機管理について】
 ○先日スクールバスが車と衝突しそうになり急ブレーキをかけて娘が頭をぶつけたが連絡が下校した後だった。大丈夫そうだったからとの事だったが早めに連絡欲しかったです。帰ってきてからも少し頭が痛いと言っていました。が病院に行くまでではなさそうだったので学校にも連絡はしませんでした。鞭打ちとかなら目には見えないし後々来る場合もあるので。
 ○朝の送迎の管理監視を強化して欲しい。紙切れ1枚で解決しているなら苦情は来ない。連絡事項が直前であったり、猶予期間がみじかいことが多い。お金の入ったモノを教室の提出入れに出すのは間違っている。やむを得ずお金を子どもが持っていくときは先生が必ず直接回収すべき。
【大楽毛学園、施設設備について】
 ○最後の卒業式や閉校式があるのなら、これまでの卒業生や地域の方にも参加してもらい記念に残るものになればと思います。
 ○最後の大楽毛小学校なので、子どもたちより在校生だった親目線で記念写真など、何気ない風景の写真。子供たちの写りが小さくても大丈夫なので、周りの景色(トイレだったり、図書コーナー、各部屋、廊下、、、ほぼ全部)も写しながらの小学生の日常を、記憶に残る思い出で欲しいです。
 ○夏は年々暑さを増していると思います。釧路でもクーラーをつけるべきだと思います。来年から校舎が変わりますが、工事が全然間に合わない状態での義務教育学校スタートに不満があります。子供もポロっと患痴をこぼしたり。先生方もこんな保護者と市の板挟みかもしれないですが。しっかり工事して頂いて、クーラー設置して快適で安心して楽しい学校生活が送れる事を願っています！

肯定的な回答が9割以上の項目は12項目でした。それらの項目以外の項目においても、肯定的な回答が8割以上であり、保護者の方々も子どもたちの成長に関して積極的に関与し、地域や学校とともに連携し子どもたちを共に育てていこうという姿勢が感じられ、参画意識が高いことがうかがえました。
 一方で、肯定的な回答が80%に満たない項目は5項目でした。子どもたちが予測困難な未来社会を生き抜いていくためには、子どもたちが生きていくために必要な力(資質・能力)を確実に身に付けていけるよう、これまで以上に保護者の方と学校が連携・協働し、子どもたちを見守り、導いていく必要があると考えます。
 学校は、ICT等を効果的に活用し、学習内容が子どもたちにしっかりと身に付くよう、より一層授業改善に努めることが重要です。また、アンケート結果から「**自分の気持ちや考えを進んで伝える**」という部分(資質・能力)に、子どもたちも保護者の方々も、そして教職員も課題を感じています。今後も学校や家庭において、学ぶことへ興味や関心を持てるような働きかけを進めていくと同時に、授業や各種活動、家庭生活において、「自分の気持ちや考えを伝える、伝え合えるような場」を意図的に設定し、子どもたちが経験していくことで、今後自信を持って自分の考えを表出できるようになっていくと考えます。
 学校の取組につきましては、多くの肯定的な回答や学校改善のアイディア、アドバイスをいただきました。ありがとうございました。2学期以降も、今年度の目指す子どもの姿をより一層意識しながら、いただいたご意見を生かして随時見直しを図りながら、各種取組を推進していきたいと考えます。今後とも、保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

教職員アンケート

(4:している 3:どちらかといえはしている 2:あまりしていない 1:していない)

肯定的な回答(4)が50%以上 努力を要する回答(2,1)が10%以上

1 学校経営理念・目指す子どもの姿に関わって (前年度同時期比)

No.	質問項目	4	3	2	1
1	私は、学校経営理念(「子どもを大切にしたい学校」「子ども日常の活動や行事等を通じて、もが学び合う学校」)の実現を常に目指し、当事者意識をもって、各種実践や業務に取り組んでいる。	73.9% (+16.8)	26.1%	0.0%	0.0%
2	私は、本校の目指す子どもの姿(「学ぶことを楽しみ、「やればできること」を実感し、自信をもって行動できる子」)の実現を常に意識し、日常の授業改善や学級経営等に取り組んでいる。	65.2% (+12.8)	34.8%	0.0%	0.0%

【今後の方向性】
 学校として、この項目がまずは重要だと考えます。そういう意味で、昨年度の同時期と比較し、皆さんが「当事者意識」を持って、日々とりくまれているのがわかりました。2学期も今年度の「目指す子どもの姿」を意識して、取組を進めていきます。授業づくりについても、子どもたちが「学ぶことが楽しい」「やればできる」を実感し、「子どもたちが学びとる授業」への転換を進めていきたいと思います。また、日常の活動や行事等において、子どもたち自身が「必要感」を持ち、「考え行動」し、結果として達成感や充実感が味わえるような取組の工夫を行います。

2 一人一人の可能性が輝く授業改善の推進

No.	質問項目	4	3	2	1
3	私は、身に付けさせたい資質・能力を明確にした子ども主体の授業(行事・活動)づくりに努めている。	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%
4	私は、デジタル学習基盤を前提とした「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業改善(授業改革)に努めている。	26.1%	60.9%	8.7%	4.3%
5	私は、単元のまとまりをデザインし、「タイムマネジメント」を意識した1時間の授業づくりに努めている。	26.1%	56.5%	17.4%	0.0%
6	私は、自分自身の授業力向上を目指し、各種研修に参加するとともに、協働性を高める校内研修の充実に努めている。	30.5%	56.5%	13.0%	0.0%
7	本校は、授業改善チーム(新しいかたちの学び授業力向上推進チーム)を積極的に活用したり、教職員相互で効果的なICTの活用について情報共有するなどして、質の高い学びの実現に努めている。	43.5%	43.5%	13.0%	0.0%

日々の授業改善(授業進化)はもとより、年間を見通した授業の実施は「子どもたちの学びをつないでいく」という意味では重要と考えます。そういう意味で1時間のタイムマネジメント、年間のタイムマネジメントを意識して授業を進めていきたいと思います。朱書きも忘れず。
 また、授業や家庭学習において、本校の「ICTの活用」は他校に比べて順調に進んできていますが、今後は「より効果的な活用」を目指し、今求められている「授業と家庭学習の往還」を意識した取組の充実を図ります。その上で、各先生方が「この教材でこんなことやってみよう」「こんな取組が子どもたちには効果的だったよ」と互いの取組を日常的に共有できる場を大切に、互いに高め合う教職員集団を目指しましょう。授業改善チームの方々から他校の実践のいいものはどんどんトライしてみるのもよいでしょう。そのことが最終的には子どもたち一人一人の学びを確かなものにします。

3 発達支持的生徒指導を軸とした安心・安全の風土の醸成

No.	質問項目	4	3	2	1
8	本校は、学校が一体となって、ベクトルを揃え、学習規律を含めた取組の継続・徹底に努めている。	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%
9	本校は、生徒指導の実施上の視点を取り入れながら、学級経営、教科経営において心理的安全性が醸成されるよう学習環境や言語環境の整備に取り組んでいる。	26.1%	73.9%	0.0%	0.0%
10	私は、多様な学びの場の一層の充実と、個々のニーズを踏まえた授業づくりに努めている。	30.4%	69.6%	0.0%	0.0%
11	私は、読書活動の定着に向けて、計画的な働きかけを行うとともに、日常の授業等において読書活動を効果的に取り入れた心の教育の推進に努めている。	26.1%	56.5%	17.4%	0.0%
12	私は、子どもの実態を踏まえた「特別の教科道徳」の授業を要として、人を思いやったり、いじめに毅然と立ち向かったりする態度を育む道徳教育の推進に努めている。	34.8%	65.2%	0.0%	0.0%

学校全体のベクトルは確実に揃ってきています。そのため、子どもたちは確実に変わってきています。ただし、1つのほころびからすぐに戻ることはおわかりのことと思います。今後も全体で決めたことはしっかりやりきる姿勢を子どもたちに示していきましょう。また、保護者アンケートより「挨拶ができていない」との書き込みもありました。より一層「**なんのために挨拶をするのか**」を加えて、まずは私たちから改めてやっていきます。

4 「大楽毛学園」創設に向けた魅力的な学校づくり

No.	質問項目	4	3	2	1
13	本校は、小中ジョイント協議会において、9年間を見通した小中一貫教育のカリキュラム策定に向けて取組を計画的に推進している。	47.8%	43.6%	4.3%	4.3%
14	本校は、生活科や総合的な学習の時間を核として、幼保小・小中の切れ目のない学びの構築に向けて取組を推進している。	56.5%	30.5%	13.0%	0.0%
15	本校は、「地域のよさ」を実感できる地域素材(人・もの・こと)を最大限に生かした教育活動を通して、社会の一員として貢献できる人材の育成を目指したキャリア教育の推進に努めている。	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%
16	本校は、小中合同のCS(コミュニティ・スクール)協議会やPTAを軸とした地域とともにある学校づくりの推進に努めている。	34.8%	65.2%	0.0%	0.0%

約半年後に迫ってきた「大楽毛学園」開校に向けて、これまでも「連携部」を中心に進めてきましたが、より一人一人の教職員が「一緒になるための準備」(気持ちや業務)ができるよう、積極的に中学校への働きかけを行いながら、固めていきたいと思います。そのためには、「**どういう段階**」「**どういう動きをしているのか**」が全体で共有できる工夫が必要かもしれません。
 一番は「子どもたちが迷わないよう」に、お一人お一人が当事者意識を持って、それぞれの役割のもと準備を進めていきます。「こんなこと言ったら、迷惑か」「こんなことは十分みんなわかっているはずだと思うけど」。意外と忘れていたり気づかなかったりすることも多いものです。遠慮せずに口にできる雰囲気づくりをしていきます。

5 子どもたちの安全確保

No.	質問項目	4	3	2	1
17	本校は、いじめ問題や災害等に係る危機意識の醸成を図る各マニュアル等の不断の見直しを行っている。	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%
18	本校は、地域・家庭と連携した防災、防犯に係る取組等について、計画的に実施している。	60.9%	34.8%	4.3%	0.0%

7月30日の「津波警報」時には、臨機応変に皆さんに動いていただきましたが、改めて子どもたちの安心・安全を第一に考え、「危機管理マニュアル」を、どの教職員も日常的に確認し、都度「朱書き」するなどして更新していくことが大切です。また、今後に向けては、「大楽毛学園」に向けての危機管理について理解を深めていく必要もありそうです。
 まずは、本校においての避難訓練や防犯訓練、またいじめへの対応等を教職員一人一人がしっかりと意識して進めていきます。

6 働き方改革

No.	質問項目	4	3	2	1
19	本校は、「コアチーム」による業務の不断の見直しを行うとともに、定時退勤日や業務改善を通して、ワークライフバランスを意識した職場環境づくりを推進している。	30.4%	65.3%	4.3%	0.0%
20	本校は、業務効率化等を目指し、タブレット端末や校務支援システム等の活用に係る研修時間の確保を行い、業務改善を推進している。	43.5%	47.8%	8.7%	0.0%

今後も単なる「時短」ではなく、「帰りたい時に帰りやすい職場」「忙しい中でも動きがいのある職場」を目指していきます。(帰る時には「すみません」ではなく「また明日」)そのためには、働き方改革における業務改善、業務削減も必要です。コアチームを有効に機能させながら進めていきます。
 また、クラスルームや校務支援システム等、ICTの活用に係る「情報伝達、確認」については、お一人お一人情報がつかみ取っていく姿勢や手順を確立していくことが急務のようです。

今後も、現在行っている取組が「何のために行っているのか」、そのねらいを確認しながら、「この取組は子どもたちのために必要かどうか」を吟味しながら進めていきます。すべては「子どもたちにとってどうか」。取組の結果は「子どもたちの姿」で表れます。
 今回のアンケートの評価をしっかりとこれからの学校運営に反映し、大楽毛小学校から「大楽毛学園」への移行をスムーズに行えるよう進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。